



國學院大學 特集

神道文化学部の就職力!



もっと日本を。もっと世界へ。



國學院大學

「古事記アート」作品

「三貴子」(天照大御神・月読命・須佐之男命)
今橋 晶子さん製作(神道文化学部2年・製作時)

舞姫から女性神職へ



吉田 理央さん

フレックスB (昼間主)

平成30年度卒業(第127期)

神社奉職 内定



観月祭の日々



私は社家の出身ではありませんが、ずっと神道に興味がありました。「神道について深く学びたい、将来神職として神社に関わりたい…」そう思って、神道文化学部に入學したのです。



入學後、神楽舞サークルで日々稽古に励みました。大学行事にも積極的に参加しました。観月祭や加冠式で、神楽舞や舞楽を御奉仕させていただきました。仲間と稽古に励んだかけがえのない日々。終生忘れることはないでしょう。



学業面では、神社奉職を目指し、神職課程を履修しました。4年次には、さらに実践的な技能を身に付けるため、明階総合課程も履修しました。学部には社家出身の方が大勢在籍しています。一般家庭出身者の私が今まで知らなかったことを、数多く教えていただきました。毎日のように、新たな発見がありました。4年間というものの、授業や実習、神社での助勤を通じて、自分がどのような神職になりたいのか、ずっと考え続けてきました。4年次を迎え、やっと自分なりの指針を見つけることができたように思います。



奉職を巡っては、入学前から「女性神職の奉職は難しい」と伺っていました。不安を抱えながらの毎日でしたが、先般、おかげさまをもちまして、由緒あるお宮から内定をいただくことができました。神職は、地域の方々との繋がりが命です。微力な身ではありますが、女性神職として、精一杯御奉仕させていただきたいと願っております。在学中、ご配慮を賜りました教職員の皆様方に、心より御礼申し上げます。

フレックスA(夜間主)入学のすすめ



内海 磨弥さん

フレックスA(夜間主)

平成30年度卒業(第127期)

神社奉職 内定



フレックスA (夜間主)で 学んだ4年間



私が國學院大學に入学したのは、古事記とのご縁の賜物です。入学前から、国のはじめを伝える古事記の神話に心惹かれていました。日本の神々の、人間味豊かな姿、親しみやすいエピソード。「もっと古事記を学びたい、神々ゆかりの「神社と祭り」に接したい…」そんな思いで、本学への進学を決意したのです。



受験の際は、昼間主・夜間主「どちらでも」を選択し、夜間主に入學することとなりました。4年後の今、夜間主で学ぶことができて、本当によかったと感じています。厳しい経済情勢の折柄、フレックス奨学金の支給は、学生生活のこの上ない支えとなりました。また夜間主のクラスは、人数がほぼほぼで、どこか家族のような雰囲気があります。そこでは、少なからぬ社会人も学んでいます。様々な環境に身を置く方々から、多くのことを学ぶことができました。



そんな学生生活で最も思い出深かったこと。それは、本学ならではの年中行事です。1年次は、成人加冠式で、奉祝舞の舞人として御奉仕いたしました。2年次では、その成人加冠式で、新成人として加冠を受けることが叶いました。多くの方々のお力添えのもと、日夜共に励んできた同級生たちと、新しい門出を祝うことができたのです。同じく2年次の秋、



第7回目の観月祭で、豊栄舞の舞人としてご奉仕させていただきました。半年間のハードなお稽古の甲斐あって、当日本番は、多くの方々に見守られながら、無事に舞い終えることが出来ました。必ずや観月祭の神さまのお導きがあったものと信じています。さらに忘れがたいのは、3年次、出羽三山神社での神社実習の経験です。別天地のような出羽のお山にお籠りさせていただきました。身も心も清められるような日々でした。あらためて4年間を顧みると、学部の学びは、本当の意味で、私の「生きる糧」となっていると実感しております。



社家ではない一般家庭出身の私にとって、祭式や神社の実務等々は、まさに未知の世界でした。けれども学部では、祭式作法は勿論のこと、祭祀舞や雅楽、衣紋や御幣作りなど、神職必須の技能を習得する環境がしっかりと整えられています。入学時、文字通りゼロからスタートした私でしたが、先般、おかげさまで由緒あるお宮から奉職内定をいただくことができました。卒業後は、学部で学んだ「こころ」と「わざ」を活かし、精一杯ご奉仕して参りたいと願っております。



夜間主学生対象 返済不要

國學院大學フレックス特別給付奨学金……400,000円

神道文化学部の就職力



二宮 崇人さん

フレックスB(昼間主)

平成30年度卒業(第127期)

東京トヨタ自動車株式会社 内定



神道文化学部生で
あることが、
就職活動の強みに
なりました



4年次を迎え、本格的な就職活動に入った当初、こんな心配を抱いていました。「神道文化学部の学生ということが、一般就職のネックになってしまうのではないだろうか…」。

けれども、実際の就職試験では、面接官の方々が、神道文化学部に対して、とても興味を持ってくださいました。「珍しい学部だけど、どんなことを学ぶの?」「授業って何をするの?」志望動機説明・自己PRが終わると、必ずと言っていいほど学部のことを聞かれました。



神道文化学部では、夏の神社実習、神社での助勤など、他学部の人にはない経験が積めます。面接では、そうした経験が、宝物のようなトピックになりました。他学部の人とは異なり、学部生ならではの体験談を話すことができたのです。神道文化学部というユニークな学部だからこそ、他大学・他学部との差別化が図れました。神道文化学部生であることが、かえて自分の強みとなったのです。

おかげさまで、目標だった憧れの企業から、内定をいただくことができました。内定先は、人に寄り添うこと、人の暮らしに役立つことをポリシーとする企業です。神道文化学部で学んだ4年間があったからこそ内定獲得だったと実感しています。神道の学びで身に体した数々の事柄を、お客様方のために活かしていきたいよう、日々精進していきたいと願っております。





三宅 万智さん

フレックスB (昼間主)

平成30年度卒業(第127期)

IT企業 内定



神道文化学部の
「学びと経験」は
就職活動で
大きな力となりました



小学生の頃、たまたま手渡された古事記に夢中になりました。それ以来、こう思い続けてきたのです。「神道や日本文化をもっと知りたい…」。入学後は、学部の専門科目はもちろんのこと、歴史や教育などの諸分野を、幅広く学ぶことに努めました。



3年次からは少人数の演習が始まります。私は笹生衛先生のゼミに入りました。以前から興味があった祭祀考古学について学ぼうと思ったからです。笹生先生は、その道の第一人者です。最新の研究成果を、リアルタイムで伺うことができました。学部行事にも積極的に参加しました。観月祭や加冠式では、舞人や新成人の衣紋方として、本学の貴重な装束を扱わせていただきました。本当に得難い経験でした。



神道文化学部でしかあり得ない「学びと経験」は、就職活動でも大きな力となりました。面接の間では、日本の伝統文化に関心が高まる折柄、神道の学びについて、衣紋道のあれこれについて、熱心なご質問をいただきました。それにしても、学部行事を担いながらの就職活動は、とてもハードな日々でした。何度も挫けそうになりました。けれども、そのたびに、先生方や仲間たちが、私を励ましてくださったのです。おかげさまで、名高い門前町に立地するIT企業から、無事内定をいただくことができました。



後輩の皆さんに伝えたいこと。それは「大学生活を悔いなく過ごしてほしい」ということです。

私は、学生生活で「自分がやりたかったことを、すべてやり切った」と心から実感しています。この学部でしか体験できないことが、たくさんあります。後輩の皆さん、どうかチャレンジ精神を忘れないでください。4月からは社会人としての生活が始まります。お勤めの傍ら、引き続き日本を学び、自分なりの発信を続けていきたいと願っております。



神道文化学部就職力



丸山 和さん

フレックスB(昼間主)

平成30年度卒業(第127期)

新潟原動機株式会社 内定



神道文化学部の 学生でよかった…



私は、母方の実家が社家でした。大学進学に際しては、自ら進んで神道文化学部に入學しました。入學当初から、こう考えていました。「一般企業で社会経験を積んでから、ご奉仕の道に入ろう」。3年生の秋ごろから就職活動が始まります。大学で開催されている業界セミナーなどに積極的に参加しました。



実際に就職活動を進めるうちに、こう思うようになりました。「神道文化学部の学生でよかった…」その理由は2つあります。1つ目は、面接官の方々が、神道文化学部に一方ならぬ興味を示してくださったからです。当初は、この学部が、人事担当者の方々にどう思われるのか、いささかの不安がありました。けれども面接官の方々は、いずれもこの学部に興味を抱き、様々な質問を寄せてくださいました。熱心なお尋ねに答えて、自分が学部でどのようなことを学び、何を身に付けることができたのか、具体的に話すことができたのです。



2つ目は、社会人としてのマナーが、自ずから身に付いていたという点です。私は3年間にわたって祭式作法の授業を受けてきました。その甲斐あって、



就職活動必須の立居振舞、お辞儀や言葉遣いなどの礼儀作法は、自家薬籠中のものとなっていました。限られた時間を、履歴書作成や面接のシミュレーション等に振り向けることができたのです。おかげさまで千代田区に本社のある工業系の企業から内定をいただくことができました、入社後は、海外営業の仕事に携わる予定です。



神道文化学部での学びは、他大学や他学部の学生とは異なる、とてもユニークなものとなりました。祭式や衣紋の学修、神社での実習や助勤…。4年間の様々な経験は、就職活動においても、今後の人生においても、必ず様々な形で役立ってくることでしょう。もちろん、それを有効活用できるかどうかは、自分次第です。自らの特色を適切に活かすことができれば、就職活動を有利に進められることは確実です。後輩の皆さん、ぜひ頑張ってください！



岩谷 栄来さん

フレックスA(夜間主)

平成30年度卒業(第127期)

私立高校教員 内定(地歴公民科)



念願の教員目指して

大学進学に際して、こう考えました。「せっかく大学に行くのだから、そこでしかできないことを学ぶ学部に入りたい…」そう思って、神道文化学部フレックスA(夜間主)への入学を決めました。もともと私は、中学時代から教員になりたいという夢を抱いてきました。「神道を学んで、日本の精神文化を次代に伝えよう…」そんな思いから、神職課程と教職課程の両方を履修することにしたのです。

けれども、その学びの日々は、想像していた以上に苛酷なものとなりました。入学以来、私は、本学の野球部部員としても活動していたからです。神職課程・



教職課程・部活動の「両立」ならぬ「三立」の日々。毎日が自分との闘いでした。



苦しい時は、こんな思いを振るい起こして、自分を励ましたのです。「必ず教壇に立って、生徒たちに日本の伝統を伝えよう…」。「必ず野球部の指導者になって、生徒たちを育てよう…」この間、先生方・仲間たちははじめ、様々な方々が、私を支え、励ましてくださいました。いよいよ4年生。神職と教職の履修を続けながらも、目標は教職一本に絞りました。筆記試験を経ての面接では、いずれの学校の面接官の方々も、神道文化学部に対して一方ならぬ興味を示してくださいました。面接時間50分のうち、20分近くが神道文化学部についてのお尋ねという学校もあったほどです。

おかげさまで、3校の学校から内定をいただくことができました。神道文化学部での学びと経験を評価していただいた結果と思っています。この4月から、地歴公民科の教員として高校の教壇に立ちます。神道文化学部出身者としての使命を胸に刻み、次世代育成に向けて、日々精進して参る所存です。



社家でなくとも神職に



武田 雅人さん

フレックスB(昼間主)

平成30年度卒業(第127期)

神社奉職 内定



神職を目指した 4年間

神道文化学部への入学は、地元の神社とのご縁の賜物です。私が進路で悩んでいた頃、ご近所に鎮座する神社で、お話を伺う機会がありました。神職の方は、私の悩みに、それは親身に寄り添ってくださいました。それ以来、行く先々で、「神社」の佇まいが目にとまるようになったのです。改めて「神社」でご奉仕する「神職」という存在に興味を惹かれました。「自分も神職を目指そう…」そう考えて、神道文化学部を目指すことになったのです。

学部では、他大学では到底学ぶことのできない、数々の興味深い講義を受講することができました。古き良き日本の伝統文化を、深く識ることができたと思います。2年次からは、祭式作法の科目があります。私は祭式の時間がいつも楽しみでした。祭式とは、神様に対するお作法の体系です。その所作の一つ一つが、日本古来の礼儀作法に淵源していることを実感させていただきました。学部では、年中行事として、観月祭と加冠式が行われています。私は禮法研究會という祭式サークルの一員として、その一翼を担わせていただきました。祭典では、祭場舗設や祭典斎行の重責を担い、衣紋方としては、舞人や新成人の装束着装を行いました。4年間、懸命にご奉仕いたしました。



観月祭や加冠式では、多数の学生たちが、学部やサークルの垣根を越えて、各々の役割を果たす姿が見られます。全員で協力し合うことの大切さ、お互いに「感謝」し合うことの大切さを、心から実感いたしました。こうした行事を通じて、大勢の方々との絆が深まり、数多くの貴重な経験を積むことができたと思っています。私は社家の出身ではありません。だからこそ、先生方や友人たちから、それまで知る由もなかった多くのことを学ぶことができました。

先般、おかげさまでもちまして、皇室ゆかりの由緒ある神社から奉職内定を頂戴いたしました。卒業後も「一所懸命」を座右の銘として、自らの役割を果たすことは勿論、さらに様々な事柄にも前向きに取り組んでいきたいと願っております。

神道文化学部独自の各種講座

神道文化学部では、就職・奉職、および就職・奉職の「その先」を見据え、素養とスキルを高めるための各種講座を開催しています。(無料)



女子学生のための
就職セミナー



マナー講座



書道講座



和歌講座



衣紋講座



田んぼ学校



御幣講座

オープンキャンパス(渋谷キャンパス)

6月2日(日)／8月3日(土)・4日(日)・24日(土)

お問い合わせ：入学課 電話 03-5466-0141